令和4年度

尼崎の教職員を支援するために

令和４年度事業計画

令和３年度事業報告

尼崎市教育委員会事務局
教育総合センター
学び支援課

令和4年度 『尼崎の教職員を支援するために』

令和４年度 事業計画

		ページ
１　教育総合センターの事業について	……	1
２　研修体系策定の方針	……	3
３　具体的な取組	……	4
４　研修をすすめるにあたって	……	5
５　研修体系図　　※別添参照　　Ｐ7	……	6
６　研修計画	……	8
７　文部科学省・県教委等の実施する主な研修一覧	……	14

令和３年度 事業報告

８ 令和３年度 研修報告	……	15
９ 令和３年度 研究部会の概要報告	……	21
10 令和３年度 学びの先進研究サポート事業　自主研究グループ一覧	……	23
11 令和３年度 教科書センター事業報告	……	24
12 令和３年度 教育情報の収集・整理事業報告	……	24

資料

欠席届（様式３）　学び支援課長　あて	……	25

１　教育総合センターの事業について

教育総合センターは、一人ひとりの子どもたちの「生きる力」を育てるために、教職員の資質や指導力向上を目的とした教職員研修、学力調査等の調査研究、また、尼崎市版ＧＩＧＡスクール（ＡＧＳ）の実現にむけて学校園を支援している。

以下、本年度の運営方針と事業の概要を示す。

＜運営方針＞

兵庫県は、令和元年度に教育の基本計画である第３期「ひょうご教育創造プラン」を策定し、その中で、「兵庫が育むこころ豊かで自立した人づくり」の基本理念に基づき、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成とともに、教職員の資質と実践的指導力の向上を目指している。

また、本市においては、令和２年度に５年間の教育の方向性を定めた「尼崎市教育振興　基本計画」を策定し、「未来志向の教育」「個の尊厳や人権の尊重」「家庭・地域社会との連携（子どもの視点に立った教育）」を柱にした教育行政を進めている。

教育総合センターでは、県や市の示した方向性を踏まえ、研修体系に基づく教職員研修、学力調査等の研究・分析、新たな教育課題に対する先進的な研究、学社連携推進事業、教育ＩＣＴ環境の整備、ＡＧＳ実現に向けた先進的研究等を通して、教職員の資質や指導力の向上を支援する。

なお、教育総合センターの組織は、【学び支援課】【学校 ICT 推進課】の２課であり、【学び支援課】は、①研修担当②調査・研究担当③企画担当、【学校 ICT 推進課】は、①システム担当、②情報教育担当となっており、それぞれが連携を図りながら事業を進めている。

＜教職員研修事業＞

（１）教職員研修

教員一人一人のキャリアプランを踏まえた幅広い研修体系に基づいた研修を実施する。経験年数や職務・職階に応じた基本研修、教科等の指導力向上をめざす専門研修、本市の教育課題に関する特別研修を実施する。

（２）体罰防止の特別研修

市として体罰再発防止の取組を一層強化する必要性から、外部の専門機関に委託し、令和２年度からの３年間を集中期間として特別研修を実施する。

（３）学びの先進研究サポート事業

教員自らが探求力を持ち、学び続けることで実践的指導力を高めるために、教員による自主研究グループの活動を補助する。また、先進地域の学校園へ教員を派遣し指導力を向上させることを支援する。

（４）中核市法定研修

中核市として、県の定めた研修以外にも新規採用教員に対して、採用の日から１年間、職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修を実施する。また、中堅教員に対しては、個々の能力・適性やニーズに応じた選択研修を取り入れながら、ミドルリーダーとして、学校の中核を担う教員の指導力向上をめざす。

＜あまっ子ステップ・アップ調査事業＞

教育委員会と学校が児童生徒の学力と学習状況を把握し、教育活動に関する継続的な検証改善サイクルを確立するため、小学１年生から中学２年生を対象に、学力調査と生活実態調査を実施する。また、各校から選任された研究部員による「エビデンスに基づく教育実践研究部会」において、自校の結果を分析し学力向上の取組を検証するとともに、他校の取組の共有を図る。

あわせて「学びと育ち研究所」へ調査結果のデータ提供を行うことにより、科学的根拠に基づく教育施策の立案に寄与する。

＜未来の学び研究事業＞

社会の変化に伴う新しい教育課題に対する先進的な研究を行い、教職員の指導力向上を図る。特に、ＡＧＳ実現に向け、ICT を活用した授業方法に関する先進的な研究を進めるとともに、教職員が様々な学習場面で ICT 機器を効果的に活用した学習活動ができるよう教員の指導体制と ICT 活用指導力の向上を図る。

（１）「ICT 活用推進部会」

全ての小・中学校が ICT 活用推進チームを編成するとともに、各校から１名参加する「ICT 活用推進部会」において、ICT を活用した授業方法等を研究・共有する。

（２）ＡＧＳリーディング・プロジェクト校

モデル校として指定された学校が、デジタル教科書やデジタル教材・アプリ等を活用する独自の取組を支援し、実証研究の結果を市内の学校に還元する。

（３）「探究的な学習研究部会」

小学校・中学校・高等学校の教員が参加し、探究的な学習の手法の一つである問題解決学習(Problem Based Learning)に取り組み、校種間を越えた学びの展開を研究する。

＜教育情報収集・提供事業＞

教育活動に役立つ情報を収集・整理して教育関係職員に提供し、教職員の資質の向上に役立てる。また、広報活動を通して、保護者・教職員等への啓発を図る。

・「教育あまがさき」の発行（年２回）
・「教育総合センターだより」の発行（年４回）
・教育図書の閲覧、貸出し
・「教育情報コーナーからのお知らせ」の掲載（インターネットのＨＰ上で毎月）

＜調査研究・教材開発事業＞

当面する教育課題について実証的な研究を深めるための研究部会を設置し、教材開発を行うとともに、研究成果を市内に広め、本市教育の充実を図る。

「体力向上研究部会」においては、幼稚園・小学校・中学校の教員が参加し、楽しく運動しながら体力向上につながるプログラム「リズムジャンプ」の研究を行う。

２　研修体系策定の方針

＜研修体系について＞

「尼崎市教育振興基本計画」の中の基本方針をふまえ、研修を大きく基本研修、専門研修、先進的研究・自主研修、特別臨時研修の４つに分類し実施する。

（１）　基本研修

①　教職年数に応じた研修

教職経験年数に応じた研修を実施する。初任者研修では、中核市である利点を生かし、授業力向上や地域への愛着心を育成する実践等を重点化した内容の充実を図る。また、２年目、３年目も、初任者研修を継続しグループでの授業実践研修を重ね、連続する３年間で「授業で勝負できる教員」の育成を目指す。

②　職階に応じた研修

信頼される学校・園づくりに取り組むために、学校園の組織力向上を目的とした管理職研修を実施する。特に、危機管理研修を充実させる。

③　職務に応じた研修

中核となる教員の育成をねらいとし、教務、研究推進、生徒指導、養護教諭、特別支援コーディネーター等を対象とした職務に応じた研修を充実させる。

（２）専門研修

①　教育課題等への対応研修

いじめ、不登校、特別支援教育、ICT 活用、就学前教育等の専門性を高める研修や、新しい教育課題の対応に資する研修を実施する。また、子どもの人権にかかる多様な課題の研修を通して教職員の人権意識の高揚を図る。

②　教科等の指導力向上を目指した研修

児童等の学びに向かう力や人間性の育成、学力向上等を目指し、各教科等における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた保育・授業づくりに関する研修を実施する。また、マイスター教員を含む指導教員を講師とし、若手教員に教育技術の伝達を図る研修を実施する。

（３）先進的研究・自主研修

常に学び続ける教育を育成するため、教員の自主的研究や先進的研究を支援する。また、教育活動に役立つ情報を収集・整理して、関係者に提供する。

（４）特別に実施する研修

年間計画として当初より予定している研修の他に、緊急性や必要性のある研修を随時実施する。

３　具体的な取組

＜教職員の資質向上＞

教職員の資質向上を目指し、３つの「尼崎市が求める教員の素養」を掲げ研修に取り組む。

あふれる情熱と責任感

子どもに対するあふれる情熱と責任感のある教員

・校長や教頭などの職務・職階に対応した研修

・子ども理解のための研修（いじめ防止・不登校児童生徒支援・特別支援教育など）

・養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員、学校事務職員などの職責を遂行するための研修

・人権問題について学ぶための研修

確かな授業力・指導力・専門性

「わかる授業」を徹底して追究する確かな授業力を持った教員

・授業力向上のために授業研究を中心とした研修の充実

・教科の指導力向上をめざした研修の充実

・ICT を活用した授業力の向上

・若手教員に教育技術の伝達を図る研修の充実（指導教員による研修、公開授業等）

・保育園、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、高等学校の交流や連携を図る研修

総合的な人間力

総合的な人間力を高め、時代の変化や教育課題に対応し、柔軟に指導できる教員

・学校運営の核となるミドルリーダーを養成するための研修

・小学校、中学校の教員が互いの授業を公開し協議するなど、指導方法や教材における小中連携を図る研修の充実

・地域との連携を図るため、地域を知る研修の充実

＜中核市として主体的に研修の充実を図る＞

中核市として、国や県の動向をみながら尼崎市にふさわしい研修を実施する。

（１）初任者研修（法定研修）の充実

・授業研究を中心に、道徳教育、人権教育、情報教育、防災教育、安全教育、学級経営及び接遇に関することなど、教員として必要な基礎を身に付ける。

・初任者教員が本市での教育活動に情熱を注げるように、本市の地理・歴史・文化等について学び地域への愛着心を育成する。

・１年目に引き続き２年目、３年目においても、グループ等での授業実践研修を重ね、連続する３年間で「授業で勝負できる教員」の育成をめざす。

（２）中堅教諭等資質向上研修（法定研修）の充実

教科指導や生徒指導の研修から、より専門性と実践力を高めるとともに、本市の課題や将来について考える広い視点を持った中堅教員を育成する。

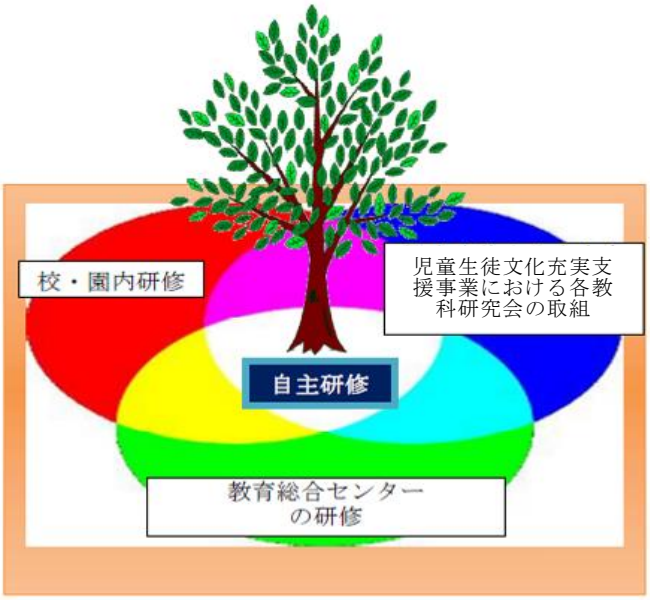
（３）県主催に加えて市独自に臨時的任用教員への研修を実施し、資質・指導力の向上を図る。

（４）高校教員の研修参加を促し、資質・指導力の向上を図る。

４　研修をすすめるにあたって

研修には、各校・園の実態に即した「校・園内研修」をはじめ、「教育総合センターが企画する研修」、その他各教科研究会が主体となって企画・運営する研修等がある。

それらが補完、連携し合って教員の意欲や資質向上を促していく。また、さまざまな研修の延長線上に、教員自身が進んで学び続ける「自主研修」の学びの根っこや栄養分があるといえる。



＜教育総合センターの研修と校・園内研修の連携＞

（１）　授業力向上等に向けて、教育総合センターの研修では、様々な講座を開催し、実践的な研修を実施していく。また、受講した教員は、研修内容を校内に持ち帰り、教科部会等において広めることで、教員の授業力向上等をめざす。

（２）　授業力向上には、熟練した授業を参観することによる効果は大きい。そのために本市の指導教員が講師になって研修を行う。また、指導主事による学校訪問等を通して授業づくりについて支援する。

（３）　研究部会や研究会の成果を、公開授業・研究発表会や研究紀要によって広く公開する。また、研究部員等が講師となって研究成果の交流を行ったり、ICT を積極的に活用する等、研究成果の共有化を積極的に図っていく。

（４）　先進的な取組や研究、優れた教員の実践等の資料収集・情報提供の機能を整備し、必要に応じた情報がすぐに手に入るようシンクタンク機能を高め、学び続ける教員の育成を図る。

＜教育総合センターの研修と自主研修の連携＞

（１）　教員自らが実践的指導力を高めるための自主研修は、教員の資質向上に向けて最もベースとなる活動である。活動グループや個々のニーズにあった支援の充実を図る。

（２）　教育情報コーナーにおいて、最新の書籍を含む教育情報、これまでに公開された授業の学習指導案、これまでの研究紀要、教育史に関する資料等を閲覧することができる。また、自主的な研究グループを支援するための研修室を夜間（午後９時）まで開放している。さらに、AMA-NET のホームページより、教員が希望する書籍を申し込むことで、センターに足を運ばなくても書籍を借りることができるようシステムを構築している。

５　研修体系図（略図）　　（別添参照）

教育総合センター（学び支援課）の研修

基本研修（受講しなければならない研修）

- 教職年数に応じた研修
- 職階に応じた研修
- 職務に応じた研修

専門研修（希望による研修）

- 教育課題等への対応研修
- 教科等の指導力向上をめざした研修

先進的研究・自主研修

特別臨時研修及び国や県が実施する研修

令和4年度 尼崎市教職員研修体系図

基本方針

「未来志向の教育」「個の尊厳や人権の尊重」「家庭・地域社会との連携（子どもの視点に立った教育）」の実現をめざし、次代を担う子どもたちの学びを支える教職員の資質向上を図るため、体系的・組織的な研修を推進する。

尼崎市が求める教員の素養

① あふれる情熱と責任感　②確かな授業力・指導力・専門性　③総合的な人間力

経験年数（年目）　1　2　3　4　5　10　15　20　25　30　35

キャリア段階

- **第1期**<1～5年目>　実践的な指導力を伸ばす
- **第2期**<6～20年目>　職務に応じて専門性を伸ばす
- **第3期**<21年目～>　より高い力を身につけ、後進の育成に生かす

基本研修

経験年数や職務・職階に応じて必要な資質・能力の向上を図る。 ※国や県が定める研修

教職年数に応じた研修

- 臨任教員研修
- ※初任者研修（法定研修）
- ※3年次研修 ※2年次研修
- ※5年次相当研修
- ※中堅教諭等資質向上研修（法定研修）
- ※15年次相当研修

教育公務員としての自覚を促し、いじめ、体罰、ハラスメント等に関する研修を継続して実施する

管外転入教員研修

職階に応じた研修

- 校・園長研修
- 新任校・園長研修
- 教頭研修
- 新任教頭研修

職務に応じた研修

- 教務担当者研修
- 研究担当者研修
- 養護教諭研修
- ミドルリーダー研修
- 栄養教諭・学校栄養職員研修
- 教育用コンピュータシステム管理担当研修
- 特別支援教育コーディネーター研修
- 体罰防止に関する特別研修
- 学校事務職員研修
- 生徒指導担当者研修

専門研修

教科、領域等の指導に必要な資質・能力の向上を図る。

教育課題等への対応研修

- 教育課程に関する研修講座
- 幼児・児童・生徒に関する研修講座
- 一般教養に関する研修講座
- 教育の情報化に関する研修講座
- 人権に関する研修
- インクルーシブ教育に関する研修

教科等の指導力向上をめざした研修

- 各教科等の専門性を高める研修講座
- 各教科等のカリキュラム等に関する研修講座
- 実技・演習に関する研修講座
- 就学前・幼児教育に関する研修講座
- 小・中教科等研究会の研修
- 幼稚園教育研究会の研修

先進的研究・自主研修

常に学び続ける姿勢をもち、先進的な課題へ挑戦する。

先進的研究のための支援

教育情報システム

- ○あまネットシステム
- ○教育・研修資料等の情報提供
- ○指導案・ワークシート等のデータベースによる情報発信
- ○「教育あまがさき」「教育総合センターだより」の発刊

センター研究部会

- ◆エビデンスに基づく教育実践研究部会
- ◆ICT活用推進部会
- ◆探究的な学習研究部会
- ◆体力向上研究部会

自主研修のための支援

教育資料の収集・貸出

- ○教育総合センター情報資料室における教育資料の収集整理・情報提供・貸出
- ○「教育史資料室」の開架

学びの先進研究サポート事業

- ○自主研究グループの活動支援
- ○先進地域への短期派遣研修

指導教員制度

特別臨時研修及び国や県が実施する研修

- ・管理職研修（県）
- ・独立行政法人教職員支援機構研修（国）
- ・主幹教諭研修（県）
- ・兵庫教育大学大学院派遣（県）
- ・道徳教育実践研修（県）
- ・学級経営研究会（県）
- ・生徒指導担当教員等研修会（県）
- ・幼児教育の理解・発展推進研修会（県）
- ・キャリア教育担当教員実践研修（県）
- ・専科教員の指導力向上研修（県）
- ・人権教育研修会（県）
- ・防災教育研修会（県）
- ・特別支援教育担当者研修（県）
- ・情報教育研修会（県）
- ・学校・園のニーズに応えて実施する研修（市）
- ・他課と連携して実施する研修（市）
- ・初任者研修の一部（県）
- ・拠点校指導教員研修会（県）
- ・その他喫緊の課題（市）

キャリア段階を問わず実施する研修　等

６　研修計画

※研修内容は予定です。

１　受講しなければならない研修（基本研修）

（１）職階に応じた研修（職階別研修）

研修・講座名		実施時期	目　　的	内容（研修テーマ等）	獲得を目指す資質				対象校種	対象者
					情熱・責任感	授業力	専門性	対応力		
校長研修	第1回	未定	管理職として、広い視野と洞察力の上に立って今後の学校経営の在り方を考える。	性暴力被害研修	○			○	小・中・高・特	校長
	第2回	未定		危機管理研修						
園長研修		未定		園経営課題研修	○			○	幼	園長
新任校・園長研修		未定	管理職としての職務（学校経営、管理運営、職員育成等）について理解を深め、望ましい学校・園経営の在り方を考える。	校・園長の職務	○			○	全校種	新任校長 新任園長
教頭研修		未定	管理職としての職務について理解を深め、効果的な学校経営の在り方を考える。	学校経営課題（教員の育成ＯＪＴ）	○			○	全校種	教頭
新任教頭研修		定例教頭会終了後等	管理職としての基礎的な実務について理解を深める。	実務に関する対応研修（シリーズ）	○			○	小・中・高・特	新任教頭

（２）職務に応じた研修（職務別研修）

研修・講座名		実施時期	目　　的	内容（研修テーマ等）	獲得を目指す資質				対象校種	対象者
					情熱・責任感	授業力	専門性	対応力		
ミドルリーダー研修		未定	ミドルリーダーの資質・能力の向上を図り、学校運営に主体的に参画する人材を育成する。	これからのリーダーに求められること(シリーズ)	○		○	○	小・中・特	小・中・特各校より選任
教務担当者研修		未定	教務担当者としての職務と職責を学ぶ。	学校運営の方法等について	○		○		小・中・特	教務担当者
研究担当者研修		未定	研究担当者としての職務と職責を学ぶ。	校内研究の推進方法等について	○	○	○			研究担当者
生徒指導担当者研修		未定	生徒指導上の課題について、組織的に対応する力の向上を図る。	いじめ予防研修	○		○	○	小・中・高・特	生徒指導担当者
養護教諭研修		未定	学校保健の中核的役割としての職務を理解し、現代的な健康課題への対応力を高める。	養護教諭の職務等に関する研修			○		全校種	養護教諭
栄養教諭研修　学校栄養職員研修 ※食育研修講座を兼ねる		未定	子どもの食に係る課題を認識し、理解を深めるとともに、食育の指導力を高める。	栄養教諭の職務等に関する研修			○		全校種	栄養教諭 学校栄養職員
特別支援教育 コーディネーター研修 ※インクルーシブ教育研修講座を兼ねる		未定	特別支援教育についての理解を深め、コーディネーターとしての指導力の充実を図る。	特別支援教育の充実を図るための研修			○	○	全校種	特別支援教育コーディネーター
学校事務職員研修		未定	学校事務の職務について理解を深めるとともに、疑問点を解決する。	学校事務職員の職務等に関する研修			○		全校種	学校事務職員
教育用コンピュータシステム 管理担当研修		未定	教育用コンピュータシステムについて理解を深めるとともに、管理と運営に関する知識や技術を習得する。	教育用コンピュータシステムの管理と運用			○		小・中・高・特	小・中・高・特支学校の教育用コンピュータ管理担当教員
体罰防止研修	管理職	未定	学校・教育現場における体罰防止等に対する意識の改革、意識の醸成等を行うための、マネジメント能力の向上を図る。	体罰防止マネジメント研修			○	○	全校種	校・園長、教頭
		未定								
	部活動	未定	環境等を総合的に考えて、適切に部活動を実施するための指導力向上を図る。	体罰防止指導方法研修			○	○		担当教員
		未定								
	教職員	未定	体罰防止等に対する意識改革、意識の醸成、意欲向上を図る。	体罰防止アンガーマネジメント・ストレスコントロール研修			○	○		担当教員
		未定								

（３）教職年数に応じた研修（経験年数別研修）

研修・講座名		実施時期	目　　的	内容（研修テーマ等）	獲得を目指す資質				対象校種	対象者
					責任感・情熱	授業力	専門性	対応力		
臨時的任用教員等資質向上研修	第1回	5/19	教育公務員としての服務等基本的な事項を確認するとともに、本市の現状と重点取組について学ぶ機会を設け、教職員としての資質の向上を図る。	尼崎市の教育事情、子ども理解 授業と評価	○		○	○	小・中・特	小・中・特支学校の臨時的任用教員等
	第2回	7/26			○		○	○		
	第3回	11/24			○		○	○		
１年目教員必修研修	第1回	5/17	本市の教員としての自覚を促し、教員としての資質・技能の向上と実践への意欲を高める。	尼崎の教育、新任教師としての心構え、接遇	○		○	○	小・中・特	幼・小・中・高・特支学校の初任者
	第2回	5/24		学級経営 学校事故防止・アレルギー疾患	○			○		小・中学校の初任者
	第3回	6/14		あまよう特別支援学校訪問研修 インクルーシブ教育		○	○			小・中・特支学校の初任者
	第4回	6/28		評価、スズキ校務 道徳科の指導		○	○	○		小・中学校の初任者
	第5回	7/5		ポジティブ行動支援 ATTF2						
	第6回	8/1		プログラミング教育について 国語科の指導		○	○	○		小・特支学校の初任者
		8/2		特別活動(クラブ指導含む) １～３年次授業実践研修						中・特支学校の初任者
	第7回	8/30		ゲートキーパー 教育相談		○	○			小・中学校の初任者
	第8回	9/6		ＬＧＢＴＱ 生徒指導(いじめ防止)			○	○		
	第9回	9/13		ＩＣＴ活用 授業実践交流①			○	○		
	第10回	10/4		尼崎の地域・歴史散策	○		○			
	第11回	11/8		校外学習プランの交流 授業実践研修②		○	○			小・特支学校の初任者
		11/15		校外学習プランの交流 授業実践研修②						中・特支学校の初任者
	第12回	1/24		人権教育 授業づくり			○	○		小・中学校の初任者
	第13回	1/31		他業種に学ぶ 外国語の指導	○		○			小学校の初任者
				他業種に学ぶ 中学校授業見学						中学校の初任者
	第14回	2/7		情報モラル 学習評価、２年次に向けて	○		○			小・中学校の初任者

研修・講座名	実施時期	目　　的	内容（研修テーマ等）	獲得を目指す資質				対象校種	対象者
				情熱・責任感	授業力	専門性	対応力		
２年次教員研修	5/25	初任者研修の成果を踏まえ、基本的な指導技法を活用しながら授業を充実させる力の習得を図るとともに、心の健康を保ちつつ学び続ける教員としての基礎となる資質の向上に資する。	研修の概要、授業づくり グループ授業実践研修①		○	○	○	小・中	小・中学校の ２年目教員
	未定		グループ授業実践研修② グループ授業実践研修③ （公開授業）		○				
			教科等の研修講座を３つ選択して受講する		○				
			異なる校・園種との連携 （TTによる授業及び実践等）		○				
異校園種交流研修 （幼稚園・特別支援学校・高校）	6月～2月				○			幼・特・高校	幼稚園・特支学校・高校の２年目教員
３年次教員研修	6/15	初任者研修、教職経験者（２年次）研修の成果を踏まえ、児童生徒理解に基づき意図的・計画的に生徒指導を行う力の習得を図るとともに、課題意識に基づく授業の工夫改善とカリキュラムを構想する力の習得を図り、学び続ける教員としての資質向上に資する。	ポジティブ行動支援 研修の概要、授業づくり等 グループ授業実践研修①		○	○	○	小・中	小・中学校の ３年目教員
	7月～2月		グループ授業実践研修② 実践交流、指導案の検討等		○				
			グループ授業実践研修③ 公開授業、事後研究会		○				
			教科等の研修講座を1つ選択して受講する		○				
５年次相当教員研修	通年	これまでの教育実践を踏まえ、指導力向上を図るとともに各自の課題を把握し今後の教員生活の充実に資する。	希望による研修講座から１日分を選択して受講する		○	○	○	小・中・特	小・中・特支学校の ５年目教員及び 希望対象者
中堅教諭等資質向上研修	5/11	個々の能力や適性、ニーズに応じて研修を実施し、指導力向上など教員としての資質向上に資する。	共通研修Ⅰ 「キャリアデザイン」	○		○	○	小・中・特	小・中・特支学校の 10年経験者(11年目)
	7/21		共通研修Ⅱ 「教育課題」		○	○	○		
	8/31		共通研修Ⅲ 「生徒指導」	○		○	○		
	12/6		共通研修Ⅳ 「教科指導」		○	○	○		
	5月～2月		選択研修 任意の研修を選択		○	○			
１５年次相当教員研修	通年	中堅教員として多様化する教育課題に適切に対応できる広い視野と実践的指導力を身につける。	希望による研修講座から１日分を選択して受講する		○	○	○	小・中・特	小・中・特支学校の １５年目教員及び 希望対象者
管外転入教員研修	未定	本市の教育の現状と課題について理解し、実践への意欲と教員としての自覚を高める。	本市の教育課題とこれまでの取組	○		○		小・中・高・特	管外転入教員

２　希望による研修（専門研修）

（１）教育課題等への対応研修

研修・講座名		実施時期	目　　的	内容（研修テーマ等）	獲得を目指す資質				対象校種	対象者
					責任感・情熱	授業力	専門性	対応力		
人権教育研修講座	1	未定	教育の本質に根ざした人権教育を推進するため、人権にかかわる教育課題に対する理解を深め、指導力の向上を図る。	多文化共生			○	○	全校種	全教職員
	2	未定		LGBTQ			○	○		
	3	未定		子どもの権利条約			○	○		
	4	未定		ヤングケアラー			○	○		
一般教養研修講座		未定	社会の動向等、教育界だけでなく他の領域の知恵に学び、視野を広げる。	民間で活躍する人に学ぶ			○		全校種	
学校飼育動物研修講座		未定	学校・園内での飼育動物について、管理や繁殖、施設や環境を知り、幼児・児童によりよい体験を与える環境について学ぶ。	飼育動物の取り扱いについての留意点			○		幼・小・特	
情報モラル・セキュリティ研修講座		未定	情報モラル・セキュリティに関する教育の指導法・実践を学び、指導力の向上を図る。	モラル・セキュリティ入門			○	○	全校種	
ICT活用研修講座		未定	ICTを効果的に活用する授業方法について学ぶ。	ICT機器を利用した授業づくり		○	○		小・中・高・特	
プログラミング教育研修講座		未定	小学校プログラミング教育の基礎的な知識・スキルの習得。	小学校プログラミング教育入門編		○	○		小・中・特	
食育研修講座		未定	子どもの食に係る課題を認識し、理解を深めるとともに、食育の指導力を高める。	成長期の食について			○		全校種	
就学前教育研修		未定	小学校就学前の教育について知り、指導力を高める。	就学前教育について			○	○	幼・保・小	就学前教育に携わる幼稚園・保育園・保育所等の教職員および小学校教員
子ども理解のための研修講座	1	未定	教育的支援を要する子どもたちの教育における理論と実践について、理解を深める。	教育的支援を要する子どもたちの教育方法について			○	○	全校種	全教職員
	2	未定	児童生徒の問題行動や不登校の児童生徒の実態を把握し、支援の在り方について理解を深める。	不登校を防ぐための人間関係づくりを大切にしたクラス経営			○	○		
インクルーシブ教育研修講座		未定	特別な支援を必要とする子どもたちに対する理解を深めるとともに、具体的な事例を通して、実践的な対応力の向上を図る。	インクルーシブ教育をふまえた学校づくり		○	○		全校種	
学級集団づくり研修講座（学級経営）	1	未定	子どもたちの学校生活の居場所となる学級の経営について理解を深め、学級力の向上を図る。	学級集団づくりについて	○		○	○	全校種	
学級集団づくり研修講座（野外活動体験）	2	未定	体験活動を通して、他者に対する思いうやりの心や協調性などの社会性を育む指導力の向上を図る。	野外活動に関する体験研修			○	○		

（２）教科等の指導力向上をめざした研修

研修・講座名		実施時期	目　　的	内容（研修テーマ等）	獲得を目指す資質				対象校種	対象者
					情熱・責任感	授業力	専門性	対応力		
授業力向上研修講座		未定	「授業デザイン　３つの視点」を活かした授業実践を行い、「主体的・対話的で深い学びの実現を目指す	「授業デザイン　３つの視点」活用術		○			小・中・高	全教職員
道徳教育研修講座		未定	「特別の教科　道徳」の授業づくりや指導方法について研修し、指導力向上を図る。	道徳授業実践研修		○			全校種	道徳教育推進教員
国語科教育研修講座		未定	国語科教育についての理解を深め、指導力の向上を図る。	主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業について		○			全校種	全教職員
国語科教育(書教育)研修講座		未定	書教育についての理解を深め、指導力の向上を図る。	主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業について		○				
図書館教育研修講座		未定	子どもの読書習慣の確立や読書指導の充実を図る。	学校における多様な読書活動の展開		○			全校種	
社会科教育研修講座		未定	社会科教育についての理解を深め、指導力の向上を図る。	授業実践交流		○			全校種	
算数科教育研修講座		未定	新しい教育課題に取り組み、児童の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	（小学校向け）算数授業の創り方		○			全校種	
数学科教育研修講座		未定	数学に関する専門性を深めるとともに、生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	（中学校向け）「主体的に学習に取り組む態度」を評価する手立てを考える		○			全校種	
理科教育研修講座		未定	理科に関する専門性を深めるとともに、児童生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	実験や観察で気をつけたいこと		○			全校種	
アプローチ・スタートカリキュラム研修講座		未定	幼児期と児童期の接続期教育についての理解を深め、保育・授業実践における指導の充実を図る。	幼・保・小連携		○			全校種	
幼児教育研修講座	1	未定	幼児期の子どもの特性について理解を深め保育・授業における指導の充実を図る。	特別支援教育の視点に立った幼児教育		○			全校種	
	2	未定		絵画実技指導		○				
	3	未定		音楽実技指導		○				
音楽科教育研修講座		未定	表現・鑑賞の活動を通して、音楽の基礎的な指導技術を学び、指導力の向上を図る。	表現と鑑賞の指導について		○			全校種	
図工・美術科教育研修講座		未定	図工・美術科に関する専門性を深めるとともに、造形的な創作活動について研修し、指導力の向上を図る。	主体的・対話的で深い学びを生む授業について		○			全校種	
体育科教育研修講座		未定	体育科に関する専門性を深めるとともに、児童生徒の主体的な学習を促す実技指導の技術を身につけ、指導力の向上を図る。	主体的・対話的で深い学びを生む体育授業について		○			全校種	
外国語・英語科教育研修講座		未定	英語科指導に関する専門性を深めるとともに、児童・生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し指導力の向上を図る。	主体的・対話的で深い学びを生む授業について		○			全校種	
特別活動研修講座		未定	特別活動の指導内容と方法について研修し、指導力向上を図る。	特別活動の指導のあり方について		○			全校種	
技術科教育研修講座		未定	技術科の授業実践を図る技術を習得する。	学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善		○			全校種	
家庭科教育研修講座		未定	家庭科の授業実践を図る技術を習得する。	学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善		○			全校種	
教育総合センター研究発表会		未定	研究成果を発表し、学校・園及び関係機関での研究推進と教育実践の参考に資する。	各研究部会による研究成果の発表等		○			全校種	

３ 研究部会

研修・講座名	実施時期	目　　的	内容（研修テーマ等）	獲得を目指す資質				対象校種	対象者
				責任感・情熱	授業力	専門性	対応力		
エビデンスに基づく教育実践研究部会	通年	平成３０年度より開始された「あまっ子ステップ・アップ調査」等の結果を分析するとともに、学力向上のPDCAサイクルの一部としてどのように活用できるのかを実践的に研究し、各学校における学力向上の取組の改善を図る。	・各学校の担当者が、「あまっ子ステップ・アップ調査」等の結果を多様な観点から分析し、それを踏まえた自校の学力向上の取組について研究し、学校間で有効な取組の共有を図る。	○		○		小・中	小・中学校各校より選任
ICT活用推進部会	通年	児童生徒１人１台のPCを活用した先進的な事例を学んだり、市内の学校間で取組を共有したりすることで、自校において「チーム学校」として、より効果的にICT機器の活用を推進していけるようにする。	・「チーム学校」として全ての教職員がICTを活用する中で、「授業改善の質的改善」及び「基礎学力の向上」を図る方法について、市内で交流・共有を図る。		○	○		小・中・特	小・中・特支学校各校より選任
探究的な学習研究部会	通年	探究的な学習の手法の一つである、問題解決型学習に取り組むことで、児童・生徒の資質能力の向上を目指す。問題解決型学習（Problem Based Learning）とは、児童・生徒が学習していく過程で生じる疑問・問題に対して試行錯誤しながら活動する手法である。	・探究的に学ぶ授業方法を研究すると共に、各教科の中で情報活用能力を育成する。		○		○	小・中・高	小・中・高等学校より選任
体力向上研究部会	未定	運動意欲と体力の向上に向け、授業でのウォーミングアップ時に取り組むことが可能なプログラム「リズムジャンプ」についての研究を行う。また、幼稚園・小学校・中学校と継続的に行うことにより、子どもたちの体力向上を目指す。	・運動意欲の向上や体力向上につながる授業方法や指導方法等について研修する。		○	○		幼・小・中	幼・小・中学校より選任

７　文部科学省・県教委等の実施する主な研修一覧

主　催	研修名・講座名	対象
・文部科学省 ・独立行政法人 教職員支援 機構研修	中央研修	全校園種教員
	海外派遣研修	
	特別研修	
県立特別支援 教育センター	新任特別支援学級担当教員等研修	小・中・特の新任特別支援学級担当教員
	通級指導教室担当教員等研修	幼・小・中・高・特別支援学校教員 等
	リーダー研修	幼・小・中・高・特別支援学校教職員 等
	選択研修	幼・小・中・高・特別支援学校教職員 等
県立教育研修所	高等学校初任者研修	令和４（２０２２）年度採用高等学校教員
	高校教員２年次研修講座	令和３（２０２１）年度採用高等学校教員
	高校教員３年次研修講座	令和２（２０２０）年度採用高等学校教員
	高等学校中堅教諭等資質向上研修	平成２４（２０１２）年度採用高等学校教員
	選択研修	小・中・高・特別支援学校教員 等
県教育委員会	学校管理職・教育行政職特別研修	令和４（２０２２）年度採用小・中・特別支援学校教頭
	阪神地区学校経営研究協議会（校長）	小・中・特別支援学校校長
	阪神地区学校経営研究協議会（教頭）	小・中・特別支援学校教頭
	学校管理職（校長）研究協議会	高等学校校長
	学校管理職（教頭）研究協議会	高等学校教頭
	新任校長学校経営研修講座	令和４（２０２２）年度採用高等学校校長
	幼稚園等新規採用教員研修	令和４（２０２２）年度採用幼稚園教員
	幼稚園等中堅教諭等資質向上研修	平成２４（２０１２）年度採用幼稚園教員
	養護教諭・栄養教諭経験者研修 （新規採用１０年次）	平成２５年（２０１３）年度採用 小・中・特別支援学校の１０年目養護教諭・栄養教諭
	市町立学校新任主幹教諭研修会	令和４（２０２２）年度登用主幹教諭
	市町立学校臨時的任用教員研修会	臨時的任用教員
	兵庫教育大学大学院派遣	小・中・特別支援・高等学校教員

８　令和３年度　研修報告

１　受講しなければならない研修（基本研修）

（１）職階に応じた研修（職階別研修）

研修・研修講座名		実施日 月	日	曜	研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数
校長研修	(1)	5	20	木	講話	「学校で性暴力がおこったら　最前線に立つ先生へ」	NPO法人性暴力被害者支援センター・ひょうご　代表	田口　奈緒	57
	(2)	12	21	火	講話	「教職員のわいせつ行為の防止とセルフチェックシートの導入及びその有効性について」	奈良大学　准教授	今井　由樹子	56
園長研修		12	21	火	講話	「教職員のわいせつ行為の防止とセルフチェックシートの導入及びその有効性について」	奈良大学　准教授	今井　由樹子	9
教頭研修	(1)	12	10	金	講話	「業務改善研修」	成良中学校　校長	桐山　勉	18
	(2)	2	16	水	講話	「管理職として大切にしてきたこと」	尼崎北小学校　校長	都倉　功充	30

（２）職務に応じた研修（職務別研修）

研修・研修講座名		実施日 月	日	曜	研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数
教務担当者研修		2	7	月	講話(Zoom)	「カリキュラム・マネジメントの考え方・進め方」	甲南女子大学　教授	村川　雅弘	57
研究担当者研修	(1)	11	17	水	講話(Zoom)	「校内研究の推進方法」	学校教育課　指導主事 学校教育課　指導主事 学び支援課　研修担当　係長	川脇　いずみ 兼子　将 尾之内　潤	18
	(2)	12	16	木	講話演習	「校内研究の成果と課題をどのように把握・活用するか」	大阪教育大学大学院 連合教職実践研究科　教授	木原　俊行	40
生徒指導担当者研修		12	9	木	講話	「子どもと教師の心を守るために ～ＳＯＳの受け止め方～」	中央大学　客室研究員	高橋　聡美	73
養護教諭研修		7	15	木	講話	「児童自立支援施設で考える、性的同意と性教育」 「女性活躍支援からみたヘルスケア」	大阪市立阿武山学園特別講師 京都精華大学非常勤講師 社会医療法人定生会谷口病院　院長	あかたちかこ 谷口　武	65
栄養教諭研修 ※食育研修講座も兼ねる		12	8	水	講話(Zoom)	「親子で備える災害時の食事とＳＤＧｓ ～ＳＤＧｓにも貢献する災害時食～」	摂南大学　講師	森　美奈子	86
特別支援コーディネーター研修	(1)	8	5	木	講話	「インクルーシブ教育を踏まえた学校づくり」	兵庫教育大学　准教授	石橋　由紀子	80
	(2)	3	1	火	講話(Zoom)	「尼崎市学校園における医療的ケア実施体制ガイドライン」伝達研修	兵庫教育大学大学院　教授	髙野　美由紀	126
体罰防止研修	管理職	7	30	金	講話演習	「体罰防止マネジメント研修」	株式会社　Meta-Design-Development	櫻井　直子	68
		11	29	月	講話演習	「体罰防止マネジメント研修」	株式会社　Meta-Design-Development	鷲本　晴香	71
	部活動	8	4	水	講話演習	「体罰防止指導方法研修」	株式会社　Meta-Design-Development	福住　昌子	45
		12	1	水	講話演習	「体罰防止指導方法研修」	株式会社　Meta-Design-Development	福住　昌子	44
	教職員	8	5	木	講話演習	「体罰防止アンガーマネージメント・ストレスコントロール研修」	株式会社　Meta-Design-Development	鷲本　晴香	83
		12	2	木	講話演習	「体罰防止とアンガーマネジメント 自分のため、相手のための怒りのコントロール」	株式会社　Meta-Design-Development	鷲本　晴香	76

（３）経験年数に応じた研修（経験年数別研修）

研修・研修講座名		実施日 月	日	曜	研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数
臨時的任用教員等資質向上研修	第1回中	12	15	水	講話	「尼崎市の教育」 「「授業デザイン　３つの視点」を活用した授業づくり」	尼崎市立教育総合センター　所長 学校教育課　指導主事 学校教育課　指導主事 学び支援課　研修担当　係長	平山　直樹 兼子　将 川脇　いずみ 尾之内　潤	27
	第1回小	12	17	金	講話	「尼崎市の教育」 「学級経営のコツと明日から使える授業スキル」	尼崎市立教育総合センター　所長 学校教育課　首席指導主事	平山　直樹 堀　克之	39
	第2回	1	18	火	講話 (Zoom)	「新学習指導要領における授業と評価」	学び支援課　研修担当　係長	尾之内　潤	63
1年目教員必修研修	第1回	5	11	火	講話 (Zoom)	「教職員としての心構え・服務について」「尼崎の教育について」 「尼崎市のＩＣＴ環境について」 「教職員としての接遇について」 「プロの教師のスキルとは～学級づくりと授業づくり」 「研修の概要について」	学び支援課　課長 学校ＩＣＴ推進課　係長 ＨＹ教育エンタープライズ　代表 学校教育課　首席指導主事 学び支援課　研修担当　指導主事	大森　康充 瀧本　晋作 橋場　由見子 堀　克之 吉向　良太	57
	第2回	5	25	火	講話 (Zoom)	「あーよかったな　先生になって～「つながりと感動」そして「笑顔」～」 「事故防止における学校体制について」	教育サポーター兼元気塾PLUS　代表 救命救急普及研究所バイスレンダー　代表	仲島　正教 磯部　晋吾	52
	第3回	6	15	火	講話 (Zoom)	「あまよう特別支援学校の教育について」 「インクルーシブ教育に視点に立った児童生徒支援」 「困っている子によりそう特別支援教育について」	あまよう特別支援学校　校長 特別支援教育担当　係長 あまよう特別支援学校　専任コーディネーター	小寺　英樹 松田　賢 髙木　裕美	53
	第4回	6	29	火	講話	「評価について」 「「特別の教科　道徳」の指導」	学び支援課　研修担当　係長 四天王寺大学　教授	尾之内　潤 杉中　康平	52
	第5回	7	6	火	講話	「体育学習で大切にすること」 「子どものつまづきに気づく ～ティーチャートレーニングをとおして～」	保健体育課　指導主事 NPO法人ラヴィータ研究所　理事長	中野　一哉 米田　和子	52
	第6回中	8	2	月	講話 演習	「特別活動(クラブ活動を含む)について」 1～3年次教科グループ授業実践	中央中学校拠点校指導教員(前園田中学校校長)	藤山　亨	22
	第6回小	8	3	火	講話 演習	「簡単、楽しく、プログラミング教育」 「令和の日本型　学校教育における国語教育の在り方」	園田小学校　教諭 大阪大谷大学　教授	林　孝茂 今宮　信吾	31
	第7回	8	31	火	講話 (Zoom)	「子どものSOSをキャッチする～ゲートキーパー入門講座～」 「LGBTQ～出会い、実践・教材作りを通して」	NPO法人　ゲートキーパー支援センター理事長 水堂小学校　養護教諭 中央中学校　教諭	竹内　志津香 吉岡　有可 大田　裕己	48
	第8回	9	7	火	講話 (Zoom)	「生徒指導について」 「教育相談について」	いじめ防止生徒指導担当　指導主事 いじめ防止生徒指導担当　指導主事 こども教育支援課　指導主事	平井　宏治 山田　憲 津田　遼	53
	第9回	9	14	火	講話 (Zoom)	「人権教育について」 「教科等の指導におけるＩＣＴの活用」	学校教育課　人権教育担当　指導主事 学校ＩＣＴ推進課	堀　祐輔 米田　浩	53
	第10回	10	5	火	講話 見学	「尼崎の地域・歴史・尼崎城」	尼崎市立歴史博物館　係長	桃谷　和則	51
	第11回	11 11	9 16	火	演習	「授業実践交流　～校外学習プランの交流～」 「授業実践研修」	学び支援課　研修担当　係長 学び支援課　研修担当　指導主事 学び支援課　研修担当　指導主事	尾之内　潤 吉向　良太 林　玄典	53
	第12回	1	25	火	講話 演習 (Zoom)	「魅力ある授業づくり」 「シチズンシップ向上プログラム　ATTFⅡについて」	学び支援課　課長 生涯、学習！推進課	大森　康充 矢倉　久仁香	50
	第13回小	2	1	火	講話 (Zoom)	「他業種に学ぶ」 「外国語・外国語活動の指導について」	株式会社ふたごじてんしゃ　代表取締役 園田東小学校　教諭	中原　美智子 手嶋　浩之	31
	第13回中	2	1	火	講話 演習 (Zoom)	「他業種に学ぶ」 校内フィールドワーク「ミッション　お宝をさがせ!　～授業デザイン３つの視点　編～」	株式会社ふたごじてんしゃ　代表取締役 学び支援課　研修担当　係長	中原　美智子 尾之内　潤	18
	第14回	2	8	火	講話 演習 (Zoom)	「校務支援ソフトの活用・情報モラルについて」 「学習者理解・学習指導のための教育評価」	学び支援課　調査・研究担当　係長 学校ＩＣＴ推進課 大阪教育大学大学院　准教授	藤井　俊史 米田　浩 寺嶋　浩介	48

研修・研修講座名		実施日 月	実施日 日	実施日 曜	研修の形態	テーマ	講師所属・職名	講師名	受講人数
２年次教員研修	第1回小中	6	2	水	講話 (Zoom) 演習	「子どもの「できた!」「やった!」を増やすポジティブ行動支援-問題行動を予防し、望ましい行動を伸ばすには-」 「２年次教員研修の概要について」 グループ授業実践研修	大阪教育大学大学院 連合教職実践研究科　准教授 学び支援課　研修担当　指導主事	庭山　和貴 林　玄典	36
	第2回中	8	2	月	演習	教科グループ授業実践研修	学び支援課　研修担当　指導主事	林　玄典	9
	第2回小	7 8 8 8 8	30 2 3 4 23	金 月 火 水 月	演習	教科グループ授業実践研修	学び支援課　研修担当　指導主事	林　玄典	26
	第3回小	9 9 10 11 11	15 29 20 8 19	水 水 水 月 金	演習	教科グループ授業実践研修	学び支援課　研修担当　指導主事	林　玄典	26
	第3回中	11 11	9 16	火	演習	教科グループ授業実践研修(公開授業、事後研究)	学び支援課　研修担当　指導主事	林　玄典	9
異校園種交流研修 (特別支援学校・高校)	第4回小中	通年			講話	異なる校・園種との連携 （TTによる授業及び実践等）	異なる校・園種との連携 （TTによる授業及び実践等） 各所属からの担当者を指導教官とする。		39
３年次教員研修	第1回小中	6	16	水	講話 (Zoom) 演習	「子どもの「できた!」「やった!」を増やすポジティブ行動支援-問題行動を予防し、望ましい行動を伸ばすには-」 「３年次教員研修の概要について」 グループ授業実践研修	大阪教育大学大学院 連合教職実践研究科　准教授 学び支援課　研修担当　指導主事	庭山　和貴 吉向　良太	50
	第2回中	8	2	月	演習	教科グループ授業実践研修	学び支援課　研修担当　指導主事	林　玄典	11
	第2回小	10 10 11 11	19 28 1 10	火 木 月 水	演習	授業力向上研修 授業実践交流	学び支援課　研修担当　指導主事	吉向　良太	41
	第3回小	11 1 2 2	18 27 1 8	木 木 火 火	演習	授業力向上研修 授業実践交流	学び支援課　研修担当　指導主事	吉向　良太	41
	第3回中	11 11	9 16	火	演習	教科グループ授業実践研修(公開授業、事後研究)	学び支援課　研修担当　指導主事	吉向　良太	11
５年次相当教員研修		通年			講話 演習	授業力・指導力向上研修	各自研修に参加		55
中堅教諭等資質向上研修		5	12	水	講話 (Zoom)	「11年目のモヤモヤ。そして、これから。」 「令和3年度　計画書・報告書の作成について」 「少人数グループ研修について」	株式会社　地域環境計画研究所　代表 学び支援課　研修担当　係長	若狭　健作 尾之内　潤	51
		9	1	水	講話 (Zoom)	「特別支援教育の視点に立ったクラスづくり」	ＮＰＯ法人ラヴィータ研究所　所長	米田　和子	54
		12	6	月	講話 演習	「まねぶ会　～モヤモヤからの第一歩～」	学び支援課　研修担当　係長	尾之内　潤	54
１５年次相当教員研修		通年			講話 演習	ミドルリーダーとしての資質向上 （今日的な教育課題等）	各自研修に参加		70
管外転入教員等研修		7	9	金	講話 (Zoom)	「本市教員に望むこと」	教育総合センター　所長	平山　直樹	19

２　希望による研修（専門研修）

（１）教育課題等への対応研修

研修・研修講座名		実施日			研修の形態	テーマ	講師所属・職名	講師名	受講人数
		月	日	曜					
人権教育研修講座	(1)	8	4	水	講話 (Zoom)	「外国人児童生徒への理解と心がけ・学校生活のための環境づくりについて」	宮城教育大学　教授	市瀬　智紀	201
	(2)	8	19	木	講話 (Zoom)	「LGBTQ～出会い、実践・教材作りを通して」	水堂小学校　養護教諭 中央中学校　教諭	吉岡　有可 大田　裕己	83
	(3)	8	20	金	講話 (Zoom)	「子どもの権利条約に基づく生徒指導の意義と方法～子ども参加の学校づくりを目指して～」	千里金蘭大学　教授	吉永　省三	38
	(4)	8	23	月	講話 (Zoom・集合)	「ヤングケアラーを知っていますか？－子どもたちの学習困難の背景を探る－」	大阪歯科大学　教授	濱島　淑惠	47
食育研修講座 ※栄養教諭研修も兼ねる		12	8	水	講話 (Zoom)	「親子で備える災害時の食事とＳＤＧｓ ～ＳＤＧｓにも貢献する災害時食～」	摂南大学　講師	森　美奈子	86
子ども理解のための研修講座	(1)	7	30	金	講話 (Zoom)	「子どものSOSをキャッチする～ゲートキーパー入門講座～」	NPO法人　ゲートキーパー支援センター理事長	竹内　志津香	83
	(2)	8	5	木	講話 演習	「不登校と居場所づくりについて考える」	こども教育支援課　係長	池田　尚史	24
一般教養研修講座		7	27	火	講話 演習	「新聞記者になろう」	学び支援課　研修担当　係長	尾之内　潤	8
学校飼育動物研修講座		11	18	木	講話 (Zoom)	「学校飼育動物の意義と目的、最適な飼育環境について」 「動物アレルギーの基礎知識などについて」 「ウサギ等の取り扱いについて」	尼崎市開業獣医師会　副会長 学校飼育動物委員会　委員長 学校飼育動物委員会　副委員長	石川　智也 村上　義久 喜多村　幸紀	8
情報モラル・セキュリティ研修講座		1	27	木	講話 (Zoom)	「GIGAスクール構想下での情報モラル教育の推進に向けて」	奈良教育大学　教授	伊藤　剛和	46
プログラミング教育研修講座		8	6	金	講話 演習	小学校プログラミング教育入門編	園田小学校　教諭	林　孝茂	33
就学前教育研修		8	25	水	講話 (Zoom)	「幼児期の育ちと学びの姿を踏まえた教育」	神戸大学　准教授	北野　幸子	43
インクルーシブ教育研修講		8	5	木	講話	「インクルーシブ教育を踏まえた学校づくり」	兵庫教育大学　准教授	石橋　由紀子	80
ＩＣＴ活用研修講座	(1)	8	18	水	講話 演習	クロームブックの基本的な操作について（１）	Google 市場開発部	長谷川　藍子	21
	(2)	8	19	木	講話 演習	クロームブックの基本的な操作について（２）	Google 市場開発部	長谷川　藍子	19
学級集団づくり研修講座 (学級経営)		12	2	木	講話 (Zoom)	「教育×笑い＝∞　すべての子ども達が楽しめるクラスづくり」	大阪成蹊大学　准教授	福岡　亮治	29

（２） 教科等の指導力向上をめざした研修

研修・研修講座名		実施日 月	日	曜	研修の形態	テーマ	講師所属・職名	講師名	受講人数
授業力向上研修講座		8	4	水	講話 演習	「授業デザイン　３つの視点」活用術	学校教育課　指導主事 学校教育課　指導主事 学び支援課　研修担当　係長	兼子　将 川脇　いずみ 尾之内　潤	23
国語科教育研修講座	(1)	7	27	火	講話	「海の命」を読める国語教室をつくろう 主体的・対話的で深い学びを生む物語授業のつくり方	桃山学院教育大学　教授	二瓶　弘行	130
	(2)	8	19	木	講話	多層指導モデル　ＭＩＭ	国立特別支援教育総合研修所　主任研究員	海津　亜希子	42
国語科教育(書教育)研修講座		1	20	木	講話 (Zoom)	「硬筆書写の考え方～「画の方向」の指導を中心に～」	神戸女子短期大学　教授	山内　有香子	44
図書館教育研修講座		2	3	木	講話 (Zoom)	「子どもの豊かな読書環境をめざして」	神戸親和女子大学　教授	笹倉　剛	5
社会科教育研修講座		8	6	金	講話 演習	授業実践を持ち寄って「ポットラックパーティー」	学び支援課　研修担当　係長	尾之内　潤	22
算数科教育研修講座		7	26	月	講話 (Zoom)	愉しい算数授業の創り方	全国算数授業研究会　常任理事 関西大学初等部　教諭	尾崎　正彦	80
数学科教育研修講座		8	18	水	講話	「主体的に学習に取り組む態度」を評価する手立てを考える	姫路大学　准教授	榎並　雅之	9
図工・美術科教育研修講座		8	10	火	講話 演習	「主体的・対話的で深い学び」につながる導入の在り方	畿央大学　教授	西尾　正寛	33
体育科教育研修講座	(1)	7	28	水	講話 演習	「リズムを使った体育指導」	美作大学　准教授	津田　幸保	48
	(2)	12	2	木	講話 演習	「サッカーにおけるリズム指導」 「ハードル走におけるリズム指導」 「体育科におけるリズム指導」	美作大学　准教授	津田　幸保	10
技術科教育研修講座		8	18	水	講話 演習	プログル技術の研修と計測制御の実習	特定非営利活動法人みんなのコード 文部科学省　視学官	千石　一朗 上野　耕史	7
外国語・英語科教育研修講座		7	28	水	講話	「児童・生徒の自己肯定感を高める英語授業」	大阪教育大学　教授	加賀田　哲也	30
家庭科教育研修講座		7	29	木	講話 (Zoom)	キャッシュレス決済の種類と仕組み～若者のオンライン決済を中心に～	一般社団法人ＥＣネットワーク　理事	原田　由里	22
特別活動研修講座		2	10	木	講話 (Zoom)	「よりよく生きる力を育む特別活動 　　ーコロナ禍における特別活動の実際とその課題ー」	神戸松蔭女子学院大学　教授	秋山　麗子	10
道徳教育研修講座	(1)	8	5	木	講話	「教科」時代の道徳科の授業を創る ～主体的・対話的で深い学びを目指して～(中学校編)	四天王寺大学　教授	杉中　康平	15
	(2)	8	6	金	講話	「教科」時代の道徳科の授業を創る ～主体的・対話的で深い学びを目指して～(小学校編)			33
アプローチ・スタートカリキュラム研修講座		3	7	月	講話 (Zoom)	「幼児期の遊びや生活を通した学びを児童期の学びへつなぐ」	神戸大学付属幼稚園　副園長	田中　孝尚	33
幼児教育研修講座	(1)	8	5	木	講話	「特別支援教育の視点に立った幼児教育」	相愛大学　教授	中井　清津子	38
	(2)	8	24	火	講話 演習	絵画実技指導	元尼崎市立幼稚園長	細川　美智子	24
	(3)	8	30	月	講話 演習	音楽実技指導	神戸親和女子大学　准教授	臼井　真	14
研究担当者研修講座		7	26	月	講話 (Zoom)	「校内研究で実現!授業が楽しくなる学校づくり」	教師塾「あまから」代表	森川　正樹	48
教育総合センター研究発表会		2	25	金	講話	発表1　授業力向上研究部会 発表2　ICT活用推進部会　先導的モデル校実証研究 発表3　探究的な学習研究部会 発表4　体力向上研究部会	学び支援課　調査・研究担当　係長 学校ICT推進課　係長 学校ICT推進課　指導主事 学び支援課　研修担当　指導主事	藤井　俊史 瀧本　晋作 雨宮　久仁 林　玄典	60

３　研究部会

研修・研修講座名		実施日			研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数
		月	日	曜					
授業力向上研究部会	(1)	11	11	木	演習	「あまっ子ステップ・アップ調査の結果を踏まえた授業改善の取組等」について	学び支援課　調査・研究担当　係長	藤井　俊史	56
	(2)	1	21	金	演習 (Zoom)	「学力調査を活用した授業改善への取組等」について	学び支援課　調査・研究担当　係長	藤井　俊史	54
	(3)	3	3	木	演習 講話 (Zoom)	学力調査を活かした授業改善や学力向上の取組について	早稲田大学教職大学院　教授 学び支援課　調査・研究担当　係長	田中　博之 藤井　俊史	58
ICT活用推進部会	(1)	5	10	月	講話 (Zoom)	基調講演「GIGAスクール構想で育てたい子どもの姿」	放送大学 教授	中川　一史	72
	(2)	5	19	水	講話 (Meet)	講義①授業支援アプリ「先進事例の共有①（Google）」	Google for Education 営業統括本部 部長	杉浦　剛 ほか	98
	(3)	6	3	木	演習 講話 (Zoom)	講義②授業支援アプリ「先進事例の共有②（ロイロノート）」	㈱わけわけ代表	野中　健次	102
	(4)	7	30	金	演習	ワーク①「各校におけるICT活用推進チームの取組の共有」	学校ICT推進課　係長	瀧本　晋作	59
	(5)	9～ 10			演習 (非同期)	ワーク②「【２学期の重点取組】の共有」 （Google Workspaceによるオンライン非同期型研修）	学校ICT推進課　係長	瀧本　晋作	60
	(6)	11	22	月	演習 講話	講義③学校での取組 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けたGIGA端末の活用」	桃山学院教育大学　講師	木村　明憲	62
	(7)	2	15	火	演習 (Meet)	ワーク③＆まとめ「ふりかえり」	学校ICT推進課　係長	瀧本　晋作	56
探究的な学習研究部会	(1)	7	1	木	演習 講話 (Zoom)	「探究的な学習を行う必要性 PBLとカリキュラム・マネジメント」	徳島大学　准教授	福井　昌則	8
	(2)	11	19	金	公開授業	成良中学校　第１学年 体育科　「サッカー」	学校ICT推進課　指導主事	雨宮　久仁	8
	(3)	11	26	金	公開授業	園田小学校　第２学年 プログラミング教育Ｃ分類「園田ロボットコンテスト」			8
	(4)	12	16	木	公開授業	園田東小学校　第３学年 国語科　「I'm possible～パラリンピック～」			8
	(5)	2	17	木	公開授業	尼崎高等学校　第２学年 英語科　「電子書籍か紙の書籍か」			8
						尼崎高等学校　第１学年 数学科　「じゃんけんの新しい手を考える」			8
	(7)	3	22	火	総括研修 (Zoom)	総括研修 探究的な学習研究部会　部員が行った授業への総括と次年度への展望	徳島大学　准教授	福井　昌則	8
体力向上研究部会	(1)	6	24	木	講話 演習	「研究テーマの設定・今後の研究について」 「リズムジャンプを体験」	学び支援課　研修担当　指導主事	林　玄典	7
	(2)	7	28	水	講話 演習	「リズムジャンプ１学期の取組報告」 「主運動につながる準備運動の開発」 「２学期の取組について」	美作大学　准教授 学び支援課　研修担当　指導主事	津田　幸保 林　玄典	9
	(3)	12	2	木	講話 演習	「主運動につなげるリズムジャンプトレーニングについて」 各校園実施状況の共有	美作大学　准教授	津田　幸保	7
	(4)	1	21	金	講話 演習	研究報告書について	学び支援課　研修担当　指導主事	林　玄典	9

９　令和３年度　研究部会の概要報告

１　授業力向上研究部会

「学力調査結果の分析・活用
－　各学校における授業改善や学力向上の取組の充実を目指して　－」

学び支援課　調査・研究担当　係　　長　　藤井　俊史
学び支援課　調査・研究担当　指導主事　　小谷　隆宏

【内容の要約】

本部会は、市内の全小学校４１校・中学校１７校から推薦された教員が、平成３０年度より開始された「あまっ子ステップ・アップ調査」等の結果の分析を中心に、自校の学力を向上させるための取組を検証し、改善させる方法を見出すことを目的とする。

具体的には、年度の初めに「あまっ子ステップ・アップ調査」等の主旨や分析結果から自校の課題をもとにして取組を計画し【Ｐ】、夏休みには１学期の取組を振り返り、研究者の知見や他校との実践交流を通して改善を図り【Ｄ】、１２月と１月に今年度の調査を受検【Ｃ】、今年度の調査結果を踏まえて、１年間の取組を振り返って次年度につなげる【Ａ】といった連続研修を行う。このように年間を通して効果的な検証改善サイクルを確立するための実践的な研究の場を提供することで、各学校での学力向上に向けた取組の改善を図る。

２　ICT 活用推進部会

「チーム尼崎市」で取り組む ICT 活用の推進
－　【尼崎市版 GIGA スクール構想（AGS)】の実現に向けて　－

学校 ICT 推進課　係長　　瀧本　晋作

【内容の要約】

本部会は、【尼崎市版 GIGA スクール構想（AGS)】の実現に向けて、児童生徒１人１台の PC を活用した先進的な事例を学んだり市内の学校間で取組を共有したりする場を設けることで、各学校がより効果的に ICT 機器の活用を推進していくことを目的とする。部会の進め方については、担当者を１名決めて参加するのではなく、各校における「ICT 活用推進チーム」のメンバーの一員が、その都度、任意に出席する形式とし、「チ―ム学校」として学校単位で取り組むものとした。

具体的には、年間７回実施した部会のうち、大学や企業の専門家から先進的な理論や実践についての講義を受けるほか、各校での取組を共有するワークショップの機会を設け、「チーム尼崎市」として市内全体で ICT 活用の推進を図る。

３　探究的な学習研究部会

「PBL（問題解決型学習）を取り入れた探究的な学習による
これからの社会を見据えた資質能力の育成」

学校ICT推進課　指導主事　雨宮　久仁

研究員	城所　和希	（園田東小）	林　孝茂	（園田小）
〃	小松　俊介	（成良中）	西田　篤司	（日新中）
〃	鴈　和樹	（尼崎高校）	新宮　沙織	（尼崎高校）
〃	泰中　三郎	（尼崎高校）		

【内容の要約】

Society5.0 といった言葉に代表されるように、想像もできないような将来が待ち構えている。そのような社会を生き抜くためには、直面している問題に対し粘り強く取り組み、解決していく力が必要になるだろう。本研究部会では、そのような力を育成していくための有効な手段として、探究的な学習を取り入れることとした。

本部会では、探究的な学習の手法の一つである児童・生徒が、学習していく過程で生じる疑問・問題に対して試行錯誤しながら活動する問題解決学習（Problem Based Learning）と呼ばれる手法を取り入れ、探究的な学びを進めていく。また、カリキュラムマネジメントによる教科横断的な探究授業もこれからの社会で求められる資質能力の育成に有効であると考え取り組んでいく。

４　体力向上研究部会

「ホップ！スマイル！！リズムジャンプ！！！
―　幼児　児童　生徒の体力づくりおよび体力向上を目指したリズムジャンプの活動実践―」

学び支援課　研修担当　指導主事　　林　玄典

研究員	松永　玲子	（園田幼）	広瀬　和佳菜	（武庫幼）
〃	森　一馬	（武庫の里小）	山下　孝成	（尼崎北小）
〃	芝　朋来	（園田小）	浜﨑　伸之	（武庫小）
〃	中田　征我	（名和小）	米田　正樹	（常陽中）
〃	佐川　千幸	（園田中）	都﨑　綾香	（大成中）

【内容の要約】

本市の子どもの新体力テストの結果は、全国・県平均と比較すると低い水準にある。本部会では、楽しく運動しながら体力向上に繋がるプログラムづくりについての研究を行う。また同時に、授業でウォーミングアップ時に取り組み、主運動に繋がる動作の獲得が容易になる運動プログラムを研究する。さらに、幼稚園・小学校・中学校と継続的に行うことにより、こどもたちの体力向上を目指すものとする。

１０　令和３年度　学びの先進研究サポート事業
自主研究グループ一覧

NO	グループ名および研究の概要	所属校	代表者名
1	尼崎インクルーシブ教育研究会 学習や学校生活における困難を改善する指導に関する研究	武庫幼稚園	前田　有香
2	小学校プログラミング教育研究会 先進的かつ簡単に取り組めるプログラミング授業に関する研究	園田小学校	林　孝茂
3	体育研究会「にじ」尼崎 小学校低学年児童における援助自己効力感に関する研究	園田小学校	中家　良太
4	わくわく研究会 児童詩及び詩教材に関する研究	武庫東小学校	宇都　亨
5	算数研究会 事前学習と子どもの問いを中心とした授業づくりに関する研究	名和小学校	花岡　祐介
6	サークル朴（ほお） 学級づくり及び授業づくりに関する研究	武庫北小学校	長山　慶介
7	尼崎市協調学習研究会 「主体的・対話的で深い学び」に関する研究	塚口中学校	笹脇　正勝
8	尼崎の包括的性教育を考える会 包括的性教育を踏まえた授業づくりに関する研究	大庄中学校	庄司　るみ子
9	アダプティブ・ラーニング研究会 アダプティブ・ラーニング（個別最適化学習）に関する研究	成良中学校	桐山　勉
10	道徳研究会 主体的・対話的で深い学びにするための道徳に関する研究	小園小学校	由良　健一

１１　令和３年度　教科書センター事業報告

１ 常時展示	開館時間	平日 9:00～21:00（但し、土曜日、日曜日は閉館）
	展示教科書	小学校　　昭和 40 年以降の教科書 中学校　　昭和 37 年以降の教科書 高等学校　　昭和 45 年以降の教科書
	その他	学校教育法附則第９条に基づく一般図書
２ 法定展示	開館時間	令和３年６月 11 日 ～ 令和３年６月 30 日 （但し、土曜日、日曜日は閉館）
	展示教科書	令和２年度～令和５年度使用小学校用教科書 令和３年度～令和６年度使用中学校用教科書 令和４年度使用高等学校用教科書
	その他	学校教育法附則第９条に基づく一般図書

１２　令和３年度　教育情報の収集・整理事業報告

１ 各種教育資料の収集（保有数）R4.2.28 現在	
・教育関係図書	11,877 冊
・教育関係資料（研究紀要・報告書）	84 冊
・雑誌収集	12 タイトル
２ 教育広報活動	
・「教育総合センターだより」	№. 160 ～ №. 163
（令和３年５月、９月、12 月、令和４年３月の年４回発行）	
・「教育あまがさき」	第 88 号 ～ 第 89 号
（令和３年 10 月、令和４年３月の年２回発行）	
３ 各種刊行物の発行	
・ 教育研究報告書	紀要 59 号

（様式３）

第　　号
令和　　年　　月　　日

尼崎市立教育総合センター
学び支援課長 様

校・園名　　尼崎市立
校・園長名　　印

欠　　席　　届

みだしのことについて、次のとおり届けます。

１　研修・研修講座名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

２　研修実施日　　令和　　年　　月　　日（　　）

３　対象者名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

４　欠席理由　　※校務の場合、本人でなければならない理由を明記する。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

以　上